

大阪市立 董中学校

所在地：大阪府大阪市城東区古市1丁目18-4
 生徒数：794名

校長 箕輪 正秀 様
 国語科 池田 元宏 様 寺脇 彩乃 様
 宗近 文音 様 赤穂 拓也 様



現状・課題感

- 自分の考えを言語化することに苦手な生徒が多く、学校として「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の意見を持つ生徒の育成」に重点をおいて指導している。
- また、多くの生徒が作文を書くことに対して苦手意識を持っており、文章作成能力の向上を課題に挙げている。

文章検導入のポイント

府立高校入試のトレーニングに

- 『文章カステップ』は文章読解・作成指導のポイントが明確であり、検定対策以外の授業においてもそのポイントを繰り返し指導することができる。
 (例：事実と意見の峻別など)
- 『文章カステップ』で学ぶ内容は、大阪府の高校入試に出題される条件付き作文のトレーニングとも親和性が高い。

導入形態

- 対象学年・・・中学1年生、
 中学2年生（3学期受検）
- 受検級・・・4級
- 指導概要・・・
 国語の授業の一部で文章カステップを活用
 検定1か月前に過去問演習
- 教材・・・文章カステップ4級／文章読解・作成能力検定4級

文章検導入の効果

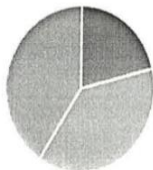
文章作成に対する苦手意識が改善

- 中学1年生から繰り返し文章作成に取り組ませることで、生徒の文章作成に対する苦手意識が改善された。
- 年度末に実施した検定試験では受験者全体の80%以上が合格。多くの生徒が文章の読解や作成に自信を持つことができ、条件付き作文などの文章作成能力の向上につながった。
- 文章検導入前のアンケートでは、半数近くの生徒が作文に対する苦手意識を持っていたが、導入後のアンケートでは全体の5%まで減少した。

<生徒アンケート結果>

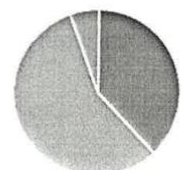
3. 授業で受検に向けて取り組みましたが、「作文」を書くことに対して ①取り組み前

- 作文は得意だった。 80
- なんとか書けていた。 144
- 苦手意識があった。 155



4. 授業で受検に向けて取り組みましたが、「作文」を書くことに対して ②取り組み後

- 作文の書き方が理解でき、書くの... 144
- 字数・作文条件を理解し、書ける... 214
- 作文が書けない。 21



※2022年4月の取材内容に基づきます。